

2026 年 7 月 14 日

お取引先各位

不二電機工業株式会社

TDH形 断路端子台 製品リニューアルのお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび断路端子台「TDH形」におきまして、製品リニューアルを行うこととなりましたのでご案内申し上げます。

本リニューアルでは、機能性および利便性の向上を目的として「レール中間脱着機能」を新たに追加いたしました。これに伴い、製品形状の一部を見直すとともに、形式を「TDHA形」へ変更させていただきます。

なお、本変更においては、製品の基本性能および品質に変更はなく、従来どおりご使用いただけます。

弊社ではこれからもお取引先様への一層の品質ならびにサービスの向上に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

— 記 —

1. 対象製品 断路端子台 TDH形

2. リニューアルに伴う変更点について

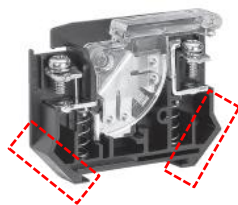
①レール中間脱着機能の追加による形状変更「脱着用リブの追加」

従来のTDH形は、レール中間位置のユニットを交換する際に、レール端部から対象ユニットまですべて取外す必要がありました。

リニューアル品TDHA形では、単極ごとに脱着可能となりますので、ユニットをレール端部まで移動させる必要がなく、取り外すことが可能です。

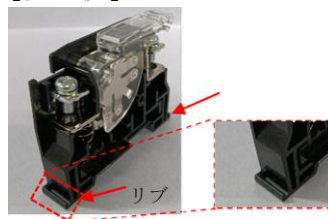
そのため、作業工数の低減にも貢献いたします。

【変更前】

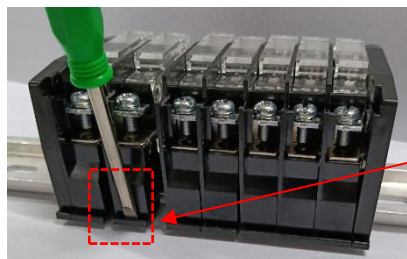


(TDH-5.5)

【変更後】



(TDHA-5.5)



脱着方法（ご参考）

【取り付け】上からレールに押し込むと、取り付け可能です。

【取り外し】ドライバーをリブに差込み、支点を利用して取り外すことが可能です。
(ユニット間の隙間は必要です)

※脱着用リブの追加に伴い、ユニット形状（高さ・横寸法）が変更されますので、従来品とリニューアル品とのレール混合組立は不可となります。それぞれのレール組立品としてご使用ください。

※外形寸法につきましては、別紙「新旧比較表」をご参照ください。

②リニューアルに伴う、形式変更

【従来品】TDH形

【リニューアル品】TDHA形

変更前	→	変更後	備考
TDH-5.5	→	TDH <u>A</u> -5.5	
TDH-5.5 R		TDH <u>A</u> -5.5 R	ユニット色：赤
TDH-14		TDH <u>A</u> -14	
TDH-5.5 T		TDH <u>A</u> -5.5 T	
TDH-5.5 T R		TDH <u>A</u> -5.5 T R	ユニット色：赤
TDH-14 T		TDH <u>A</u> -14 T	

定格・仕様について

※形式変更の際し、保存温度を「-40～+75℃」から「-40～+85℃」へ見直いたします。

※形状変更（レール中間脱着機能の追加）における性能評価につきまして、開発当時の端子台規格「JIS C 2811（1995）」から、現行規格「NECA C 2811（2012）」および「JIS C 8201-7-1（2016）」に基づく判定基準へ見直し、当該判定基準に基づき適合を確認しております。

※その他の仕様（定格・性能）について変更はございません。

3. 変更時期 2027年1月末日

※在庫部品の消化状況により、変更時期が前後する場合がございます。

※従来品の消化が早まる場合、従来品のご手配に対してリニューアル品への切替えをお願いする場合がございますので予めご了承ください。

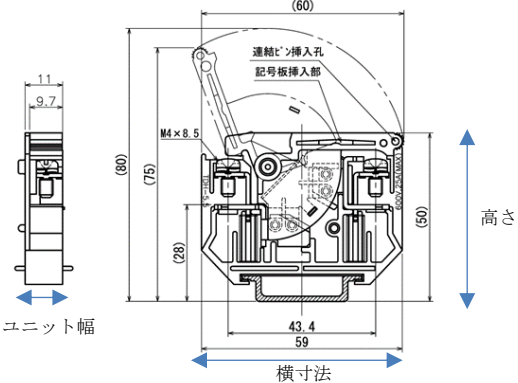
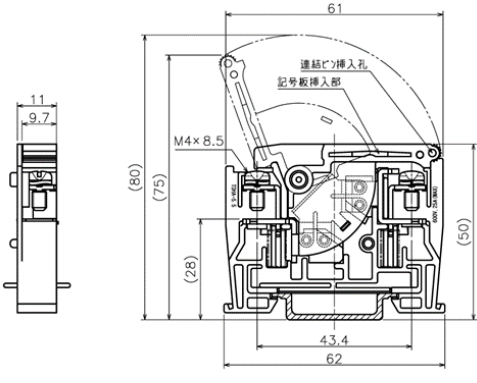
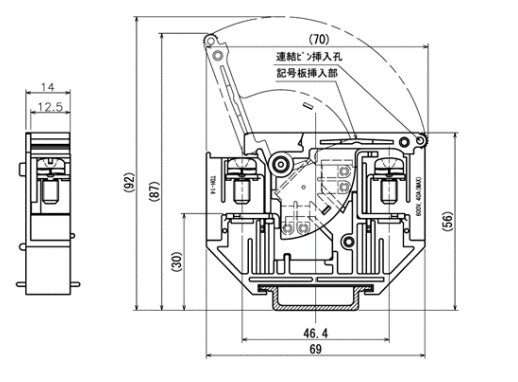
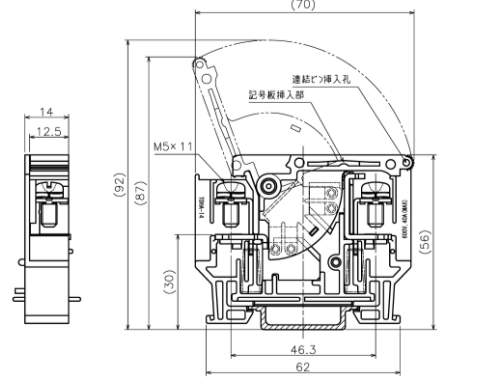
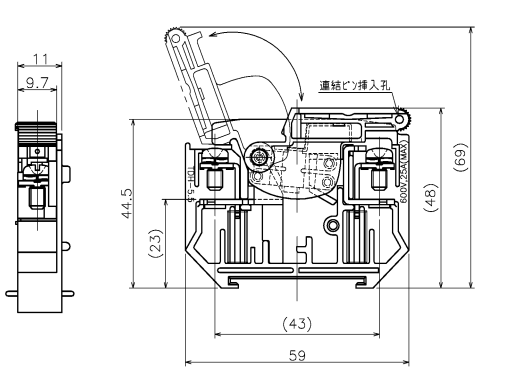
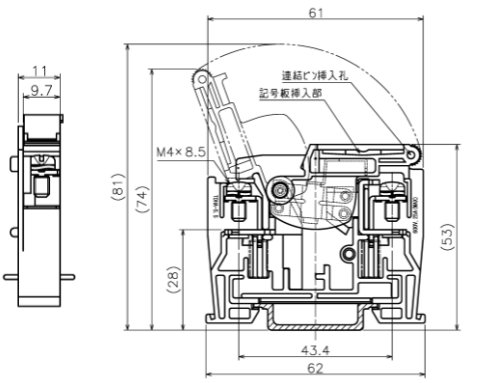
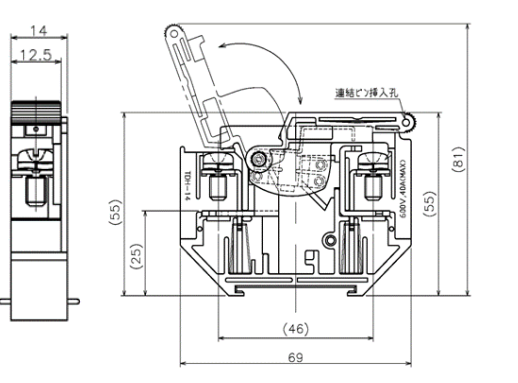
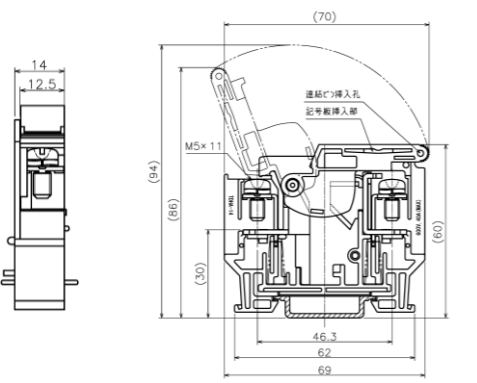
※2027年1月以降のご採用に際しましては、リニューアル品TDHA形にてご注文いただきますようお願い申し上げます。従来品TDH形は販売終了といたします。

4. リニューアル品「TDHA形」のご注文受付開始について

2026年11月より、リニューアル品「TDHA形」のご注文受付を開始いたします。

－以上－

外形寸法の新旧比較表 (T X B レール組立時)

従来品 TDH形 TDH-5.5、TDH-5.5R	リニューアル品 TDHA形 TDHA-5.5、TDHA-5.5R
	
TDH-14	TDHA-14
	
TDH-5.5T、TDH-5.5TR	TDHA-5.5R、TDHA-5.5TR
	
TDH-14T	TDHA-14T
	

※リブの追加（形状変更）により、ユニット高さ、横寸法は変更となりますが、ユニット幅に変更はないため、組立寸法（取付ピッチ、レール寸法）は従来品と同等です。